

平成27年度「第60回 卒業証書授与式」に出席して

同窓会 渉外担当 副会長

平成28年3月18日 [金] 10時～12時「平成27年度第60回卒業証書授与式」が開催され、8期Kさんと1期Oの2名で出席しました。全般的には、とても暖かな雰囲気での授与式でした。

「第60回卒業証書授与式」は、74名の卒業生と在校生・先生方・来賓・父兄で同窓会寄贈の紅白幕で囲まれた会場の体育館は、「満員御礼」でとても感動的なそして豪華な授与式となりました。特に、最後の卒業生合唱では、74名の卒業生が壇上で全員胸の制服に花をつけて、合唱する姿は、豪華でした。生徒達が主役となって、楽しい思い出の多き卒業式となりました。ありがとうございます。最後に、生徒代表の男子生徒が、卒業生全員の前で「みんな、何時までも友達でいてくれよな」の呼びかけが、卒業生・会場の皆さんの涙を誘っていました。その雰囲気に感動しました。

1. 国歌斉唱の後で、初めて「中野区歌斉唱」がありました。

「未来カレンダー Forever Nakano」

2. 卒業証書授与は、弓田 豊校長より、74名全員に一人一人、丁寧に「卒業証書」が手渡されました。人数が多かったのも、とても長い時間に思えました。卒業生の最終番号は、11, 492番でした。

3. 弓田校長の祝辞内容

本日は、中野区長 田中 大輔氏をお迎えして、「第60回卒業証書授与式」を行います。

74名全員が修学旅行に行き、74名全員に卒業証書を授与しました。幸せと喜びを感じます。1年間のお付き合いで、「トイレ水浸し事件」など先生の手を煩わしたこともあったようですがこの1年間の成果は見事でした。

東日本大震災から5年経過しましたが、心は癒えない状態です。

フランクフル著の「夜と霧」という本があります。ナチス・ドイツのユダヤ人対策の小説です。人生とは何かを問う本です。運命を分けたのは、希望を持つかどうか。人生とは何か。運命を決めるのは、希望を持つかどうかが決り手となった。十中を卒業して先の見えない希望の実現一人間として成長して希望を見つけ出してほしい。

十中校歌の「昨日は今日を思い 今日明日を望む 果てしない理想を 高く懸けて 進む」

親御さんに一言。「お子様を社会的人として、静かに見守ってほしい。」

「第60回卒業証書授与式 74名 幸多かれ 平成28年3月18日」

4. 来賓祝辞

① 中野区長 田中 大輔氏

人口の減少—新しい時代～科学的なものの考え方～人間しかできないこと～悩んだら良き友を思い出して

② 区会議員 いでい 良輔氏

自ら考え、実行に移す—2020年オリンピック若人できない分野にチャレンジ

③ PTA会長 神山 知明氏

3年間、PTA会長とても良い学校・十中にいて幸せであった。60回卒業式皆さんの船出となった。74人全員で修学旅行・卒業できた素晴らしい。私もPTA会長の卒業できました。

[2つのお願い]① 感謝の気持ちを忘れない。② 十中もあと2年しかない。心に残る校歌であった。

5. 在校生合唱 「心の中にきらめいて」

6. 卒業生合唱 [大地 讃頌] 「道」 [旅立ちの日に]

以 上